

令和7年度倉吉市民スポーツ大会

第1回室内ペタンク競技の部

- 1 開催期日 令和7年11月9日(日) 受付 午前8時30分
大会説明 午前9時00分
競技開始 午前9時30分
- 2 会場 倉吉市営体育センター(倉吉市葵町620-4)
- 3 主管 倉吉市スポーツ推進委員協議会
- 4 参加資格 市内在住・在学・在勤者の方で3名以上5名以内のグループ
参加受付は、先着順24チームまでとする。
※全員小学生以下は不可
- 6 競技方法
(1) 令和7年度倉吉市民スポーツ大会室内ペタンクローカルルールによる。
(2) 試合形式は、参加チーム数によりリーグ戦かトーナメント戦とする。
- 8 表彰 1位～3位に賞状を授与する。
- 9 その他
(1) 当日の病気、ケガ等について協会は責任を負わない。
(2) 各チームで、主催者側で加入する大会中の傷害保険以外にも加入するなど、安全確保に万全を期すること。
(3) 別添「倉吉市民スポーツ大会における個人情報に関する取扱いについて」は参加申込書の提出をもってその取扱いに承諾されたものとみなす。
- 10 参加申込・問い合わせ先
所定の申込書により令和7年9月19日(金)までに下記へ申し込むこと。
〒682-0823 倉吉市東町435-1
倉吉市スポーツ協会事務局(Tel.22-8167/Fax.22-8180)
(倉吉市教育委員会事務局 社会教育課市民スポーツ係内)

令和7年度倉吉市民スポーツ大会室内ペタンクローカルルール

- ① 試合形式はトリプルスを採用し、各チーム3名とする。（補欠は2名まで、交代は自由）
- ② コートは原則、幅4m、長さ15m以上(幅3m、長さ12m以下にならなければ良い)とする。
- ③ 競技者は全員集合し、代表者によるジャンケンでビュットを投げる権利を決める。
- ④ ビュットを投げる権利を得たチームが、サークルの中からビュットを投げる。投げたビュットが有効にならない場合は 3回まで繰り返して投げるができるが、それでも有効にならない場合は、相手チームが有効範囲内にビュットを自由に置く。
- ⑤ ビュットを投げたチーム(先攻チーム ●) が第1球目を投げる。
- ⑥ 次に相手チーム(後攻チーム ●)が第1球目を投げる。



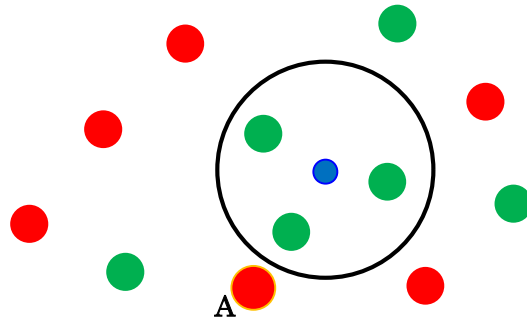
- ⑦ 次にビュットより遠いチームが投げる。（上図では、後攻チーム ● ）



- ⑧ 後攻チーム ● がボールを投げる。まだ、先攻チーム ● が勝っているので、後攻チーム ● はさらにビュットに近くなるまで投げる。4投目で後攻チーム ● が勝ったので、次は先攻チーム ● が投げる。
- ⑨ 一方のチームの持ち球が無くなったら、もう一方のチームが続けて投げる。
- ⑩ 両方のチームが全て投げ終わったら第1セット終了。

※ 同一チーム内での投げる順番は自由である。

【得点の数え方】



- ① ビュットを中心に円を描いたとした場合、赤 A より近い線の中には緑が 3 個なので
緑：3 点 赤：0 点 となります。

（得点は必ず片方のチームしかなく、一方のチームは得点 0 となります）

- ② 得点の確認は、両チーム立会いのもと審判員が行います。

【注意事項】

- ① ビュットは、コート外に出たら無効となる。

この場合、両チームとも持ちボールが残っている場合、又は残っていない場合は
このセットは無効となる。但し、一方のチームだけ持ちボールが残っている場合は
その残りのボール数が全てポイントとなる。

- ② 両チームのボールが、ビュットから同じ距離にある場合

両チームともに持ちボールが残っていない場合は、引き分けとする。この場合、その前のセ
ットで勝ったチームに、次にセットでビュットを投げる権利がある。

- ③ ボールを投げる時は、両足をサークル内に入れ、線を踏んだままで投げてはいけない。また、
投げたボールが地上に落ちる前に、足がサークルから出たり、床から離れたりしてはならな
い。

- ④ ビュットを投げた競技者が、必ずしも最初にボールを投げなくても良い。